

事務事業評価シート

(H.30)No.	1262	(H.29)No.	1262
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光戦略推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	山下 光彦	

会計区分	事業コード	363524
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光戦略推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活気に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	3	観光交流
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
平成26年10月策定の観光戦略の取り組みを継続し、観光レクリエーション入込客数の増加を図る。
事業内容
名張市内への観光誘客施策展開の基本的な方針である観光戦略に基づき、市及び関連団体等との連携と機能分担の元、多様化する観光ニーズに対応することにより、持続可能な観光振興、地域経済の活性化を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)			H.33年度(事業計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源商品化の推進 観光客ニーズに合わせたパンフレット等作成、プロモーション展開 エコツーリズムの推進 観光振興対策事業関係委託 観光関係団体負担金等 		<ul style="list-style-type: none"> 観光戦略の推進と見直し 平成26年10月策定の名張市観光戦略に基づく取組を実施するとともに、平成31年4月以降の(新)観光戦略について策定を進める。 		<ul style="list-style-type: none"> (新)観光施策の推進 			<ul style="list-style-type: none"> (新)観光施策の推進 			<ul style="list-style-type: none"> (新)観光施策の推進 	

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		7,892千円		8,743千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(ふるさと応援基金)		5,426				
	一般財源	0	2,466	0	8,743	9,000	9,000
人工数	職員		0.65人	0.65人	0.65人	0.85人	0.85人
	臨時職員等		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
②概算人件費	0千円	5,350千円	0千円	5,350千円	5,350千円	6,830千円	6,830千円
①+②総事業費	0千円	13,242千円	0千円	14,093千円	14,350千円	15,830千円	15,830千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
学生による旅行企画コンテストについて、前年度の優秀作品が旅行社の賞品として販売されるなど、新商品の開発について継続的に取り組んできた成果が出てきている。また、体験型旅行(ニューツーリズム)の創出に向けて、エコツーリズム他の推進や、三重県、伊賀市と連携した天正伊賀の乱ウォークを、両市でシリーズ化し、実施するなどの取組を行った。さらに、シティプロモーションや移住定住も視野に入れた魅力発信について、研究を進めた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
---	------------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
平成26年10月に策定した観光戦略について、国の施策や観光客の動向、更にはインバウンドの進展など、大きく情勢が変わっていく中、本年度1年をかけて、今後の本市の観光施策の在り方について協議を進め、平成31年4月から(新)観光戦力に基づく取組を進めて行く。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想